

第 127 期 報告書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

 DID



ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申し上げます。
 さて、第127期事業年度（2019年4月1日から2020年3月31日まで）の営業が終了いたしましたので、報告書をお届けし、ご報告申し上げます。
 また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、決算及び監査業務に遅れが生じ、株主の皆様には多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを、改めまして深くお詫び申し上げます。

2020年7月
 代表取締役社長 新家啓史

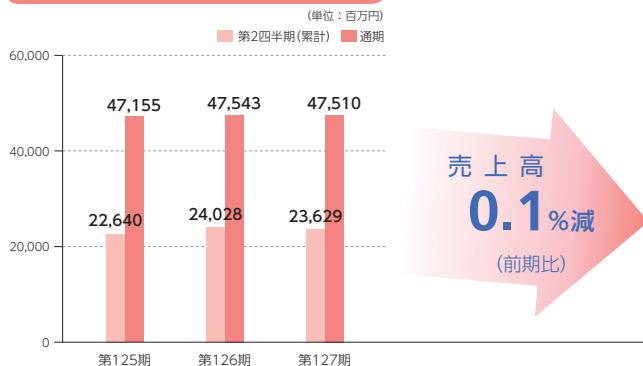
事業の経過及び成果

当期における当社グループを取り巻く環境として、世界経済は米中の貿易摩擦激化による両国の景気減速や英国のEU離脱問題、世界的な自動車生産の低迷等により、低成長にとどまり減速基調が続きました。一方、国内においては、外需の不振や消費税増税の影響が懸念されたものの、堅調な個人消費が続いてまいりましたが、昨年末よりやや

陰りを見せ始めております。また、当期の後半においては、全世界で新型コロナウイルスによる感染症の拡大により、日本を含めた世界経済や貿易等は甚大な打撃を受けております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、パキスタン国における合併会社の設立等、海外拠点の強化

売上高



営業利益



を進め、グローバルな生産活動と拡販活動を推進してまいりました。国内においては、塑性加工工場の建設やアルミリム表面処理設備の更新・増強を進める等、事業領域の拡大や生産活動の改善を推進してまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は475億10百万円（前期比0.1%減）となりました。

収益面につきましては、生産効率の改善やコスト削減に努めたものの、鋼材価格等の高騰や新興国通貨の下落による輸入品コストの上昇及び為替差損発生の影響等を受けたことに加えて、当社及び海外連結子会社（インド、ベトナム、フィリピン等の各拠点）の固定資産について、足元の新型コロナウイルス感染症拡大の影響も含めて将来の回収可能性を検討した結果、減損損失を計上いたしました。

その結果、連結営業利益は11億66百万円（前期比19.0%減）、連結経常利益は11億2百万円（前期比31.6%減）、親会社株主に帰属する当期純損失は19億20百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純利益8億44百万円）となりました。

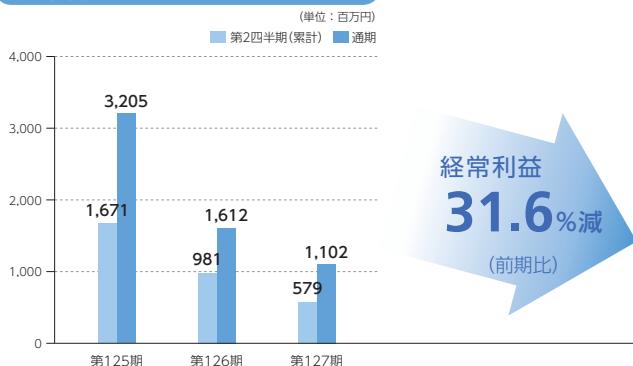
対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、世界各地で経済活動が大きく制限され、世界経済は非常に厳しい状況が続くと予想されます。

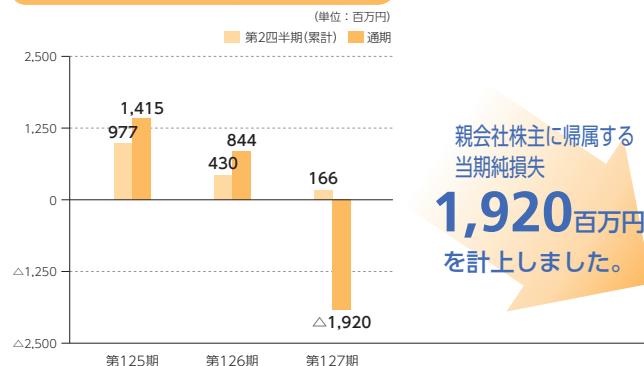
そのような中、当社は『切り拓こう たゆまぬ挑戦で未来を！』をスローガンとする第11次中期経営計画（2018～2020年）の3年目となります。厳しい状況は続くと思われませんが、改めてものづくり企業としての原点に立ち返り、既存商品の競争力を徹底的に磨き上げながら事業と技術領域の拡大に向けて挑戦を続けるとともに、多様な人材を育成し活用することで、今後も発展を続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益又は純損失

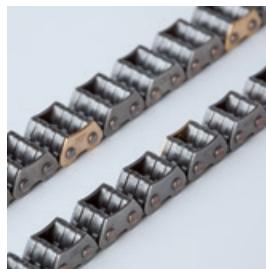


四輪車用

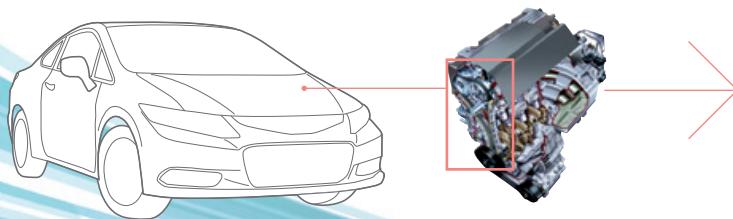
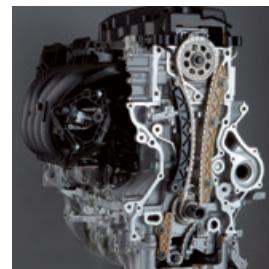
当社独自の特殊表面処理技術で、優れた耐摩耗性・疲れ強さ・高い静音性を実現した四輪車エンジン内チェーン。

[主な納入先] HONDA、TOYOTA、DAIHATSU、MAZDA、SUBARU、SUZUKI、第一汽車

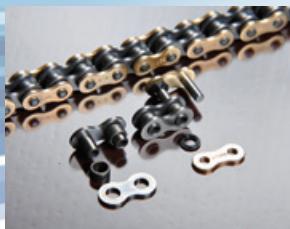
■ タイミングチェーン



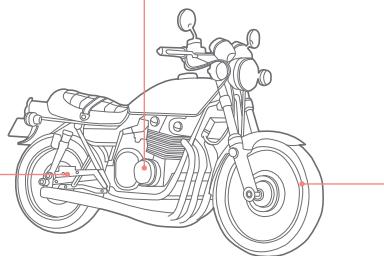
■ チェーンシステム



■ ドライブチェーン



■ カムチェーン



D.I.D

モノづくりへの情熱で世界

■ 鉄リム



■ アルミリム



二輪車用

「D.I.D」ブランドの高い信頼性と実績により、世界No.1の評価をいただく二輪車用チェーンは、多くの完成車メーカーに純正品として採用いただいております。

[主な納入先] HONDA、YAMAHA、SUZUKI、KAWASAKI、BMW、DUCATI、HARLEY-DAVIDSON

高度化・多様化するニーズに、コンサルティング能力と開発力、固有技術で、お客様の環境に合わせたソリューションを提供しています。

動力伝動・搬送用チェーン



[主な使用用途]

- ・立体駐車場
- ・フォークリフト
- ・建設機械・農業機械
- ・食品加工機械
- ・印刷機械・包装機械

産業機械用チェーン (静音チェーン)



コンベヤシステム

■ 粉粒体・環境関連設備向け エプロンバケットコンベヤ



■ 製鉄関連設備向け コイルコンベヤ



事業領域

に感動をお届けするヒューマンテクノロジー

私たちは創業以来、「伝える」「はこぶ」をテーマに、世界のニーズを満たす技術の徹底追求を行い、高性能、高品質な製品をお届けしてきました。

その根底には、人にふれあう技術、人とともに伸びる技術という思想が貫かれています。

モノづくりは人づくり、そして情熱。私たち大同工業グループは、絶えず人と技術を原点に置き、ひたむきに「D.I.D」ブランドへの期待と信頼にお応えしています。

■ いす式階段昇降機 (楽ちん号)



■ 車いす用階段昇降機 (JDエスカル)



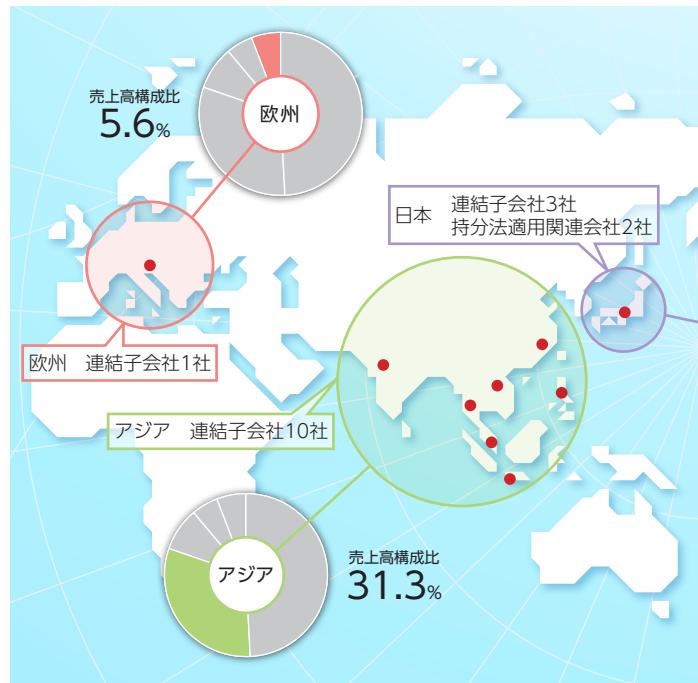
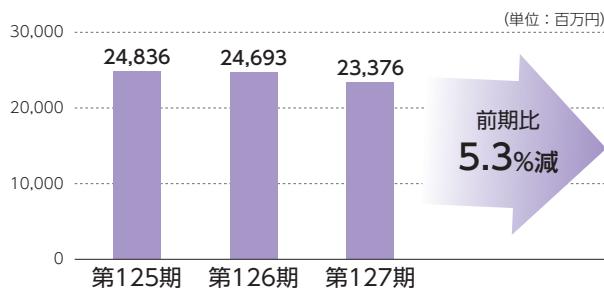
福祉機器

豊かで快適な福祉社会を実現するため、使う人の立場に立ったユニバーサルデザインに基づく福祉機器の開発を通じて、バリアフリー社会に貢献しています。

所在地別セグメント（当社及び連結子会社の属する国または地域を基準としたもの）

● 日 本

二輪車用アルミリムにおいて、前期に完成車メーカーの生産工場移転に伴う生産減少の影響があったものの、今期において受注が回復基調になるとともに新機種種の受注を獲得できたことや、コンベヤにおいて、鉄鋼・環境関連向けの搬送関連設備の受注が好調に推移しました。一方、セメント・電力関連向けの搬送関連設備の受注が低調であったことや、四輪車用チェーンにおいて、当社製品採用車種のモデルチェンジの影響等により受注が低調に推移したことに加え、農業機械用ホイールにおいてもアセアン諸国や豪州での生産調整の影響を受け受注が低調に推移したことから、売上高は前期比5.3%減少の233億76百万円となりました。



● ご参考 ●

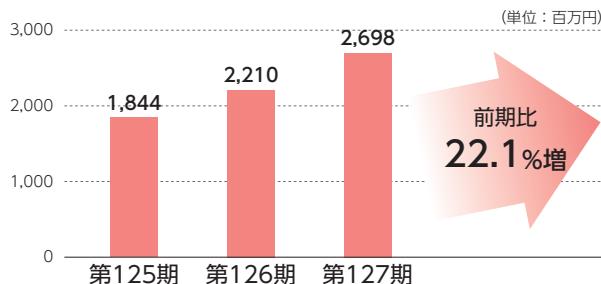
仕向地別セグメント

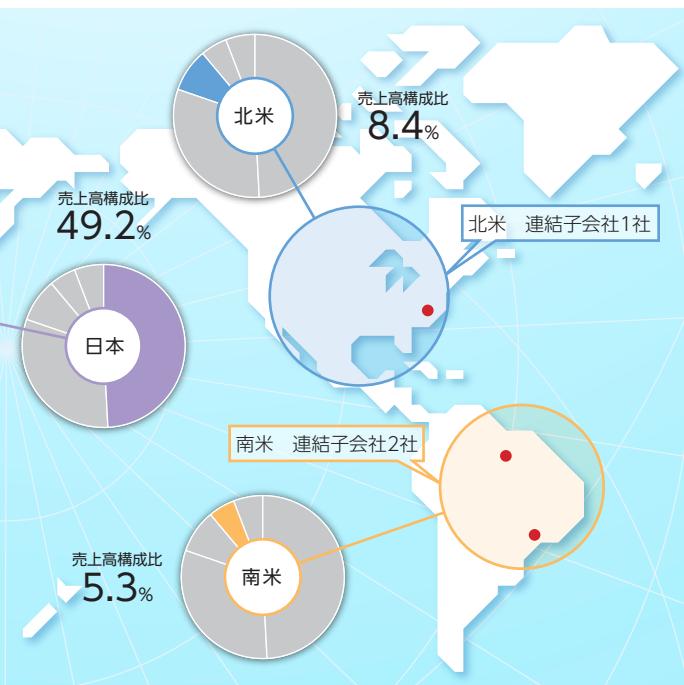
(顧客の属する国または地域を基準としたもの)

	売上高 (百万円)	構成比 (%)	前期比
日 本	21,302	44.8	5.1%減
ア ジ ア	16,158	34.0	7.5%増
北 米	4,027	8.5	1.8%減
南 米	2,752	5.8	2.0%減
欧 州	2,783	5.9	4.8%増
そ の 他	487	1.0	2.9%減

● 欧 州

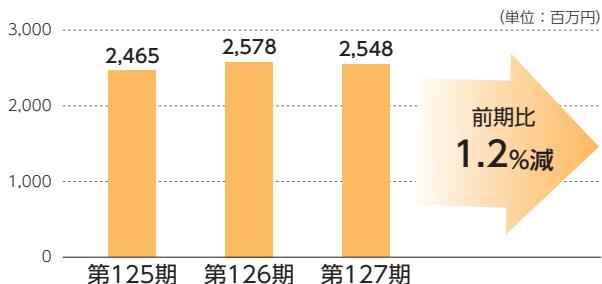
円高の影響を受けたものの、補修市場向けにおいて、二輪車用チェーンの受注が西欧、南欧向けを中心に好調に推移したことから、売上高は前期比22.1%増加の26億98百万円となりました。





● 南 米

二輪車用チェーンにおいて、完成車メーカー向けの売上は好調に推移したものの、現地通貨安の影響が大きく響き、売上高は前期比1.2%減少の25億48百万円となりました。



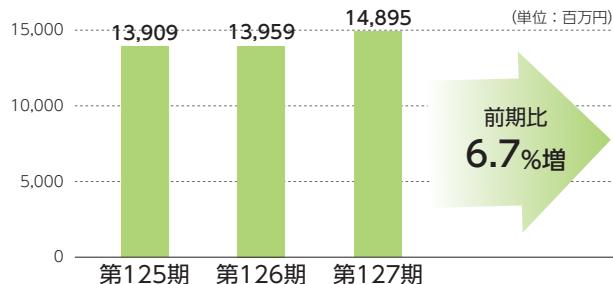
● 北 米

二輪車用チェーンにおいて、販売先の新規開拓等により受注が好調に推移したものの、四輪車用チェーンにおいて、当社製品採用車種の販売不振の影響を受け受注が低調に推移したことにより、売上高は前期比2.6%減少の39億93百万円となりました。



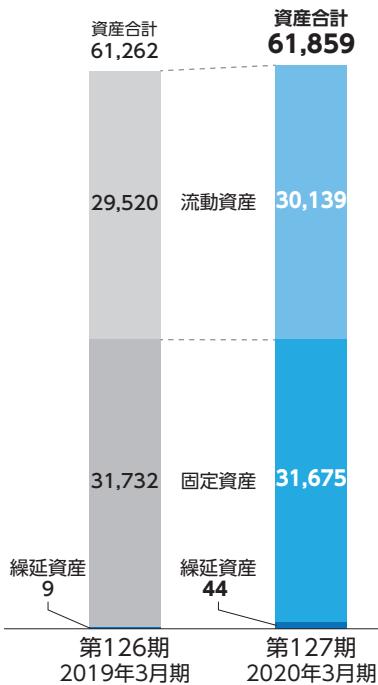
● アジア

タイにおいて空調関連向け及び食品関連向け等の搬送関連設備の受注が好調に推移するとともに、中国においても環境関連向けの搬送関連設備の受注が好調に推移したことから、売上高は前期比6.7%増加の148億95百万円となりました。



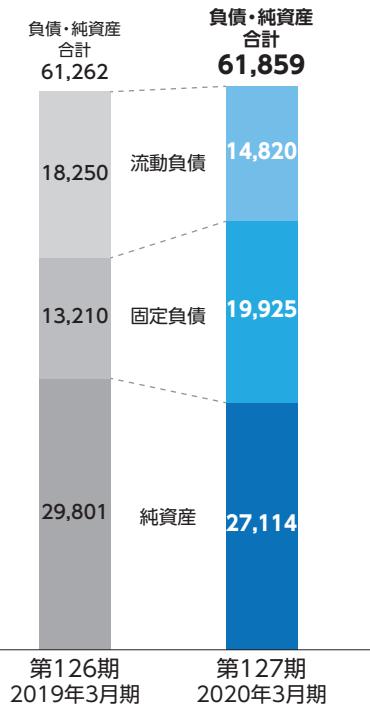
● 資産の部

単位：百万円



● 負債及び純資産の部

単位：百万円

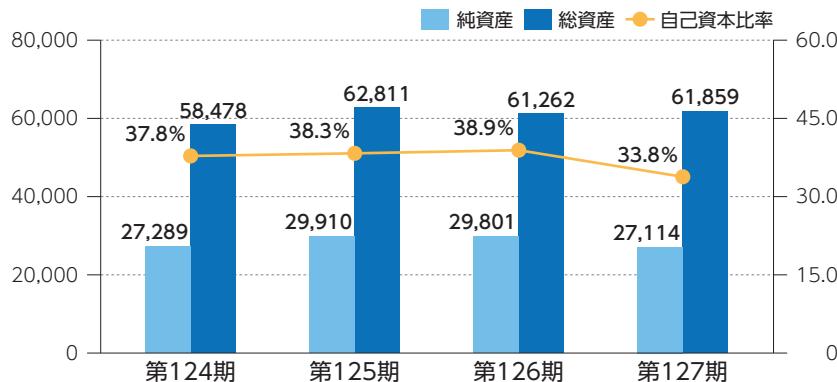


● ポイント解説

総資産は、投資有価証券が減少したものの、棚卸資産、有形固定資産等が増加したことにより、前期末と比べ5億97百万円増加しました。負債につきましては、期限1年以内の無担保社債の償還資金として、新たに無担保社債を発行したことや、短期借入金の返済資金や設備投資資金を長期借入金によって調達したことにより、前期末と比べ32億84百万円増加しました。純資産は、非支配株主持分、為替換算調整勘定が増加したものの、親会社株主に帰属する純損失を計上したことによる利益剰余金の減少や、その他有価証券評価差額金が減少したこと等により、前期末と比べ26億87百万円減少しました。

● 純資産・総資産・自己資本比率

単位：百万円

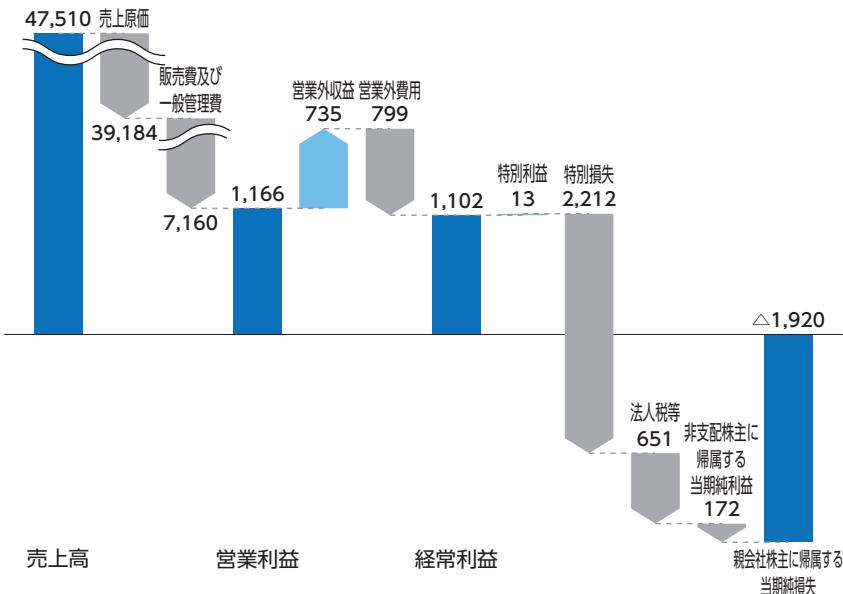


● ポイント解説

為替換算調整勘定が増加したものの、親会社株主に帰属する純損失を計上したことによる利益剰余金の減少や、その他有価証券評価差額金が減少したこと等により、前期末と比べ5.1ポイント減少の33.8%となりました。

● 損益の状況 (2019年4月1日～2020年3月31日)

単位：百万円



● ポイント解説

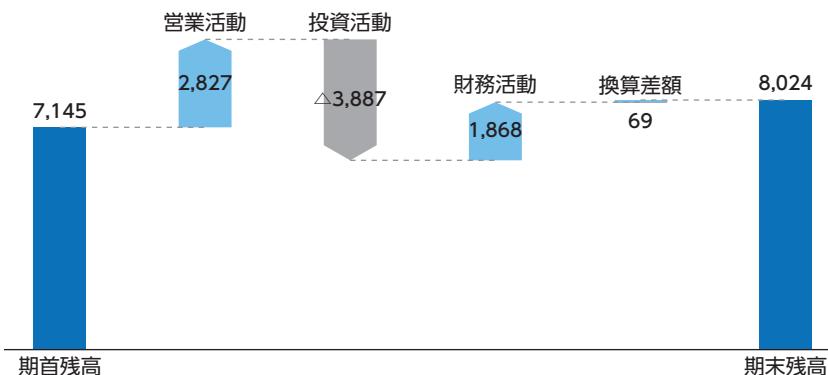
売上面では、欧州補修市場向け二輪車用チェーンや、タイ・中国で搬送関連設備の受注が好調に推移したものの、日本・北米におきましては、四輪車用チェーンにおいて当社製品採用車種のモデルチェンジの影響により受注が低調に推移したことなどにより、前期をわずかに下回りました。収益面では、生産効率の改善やコスト削減に努めたものの、鋼材価格の高騰や新興国通貨の下落による輸入品コストの上昇及び為替差損発生の影響等を受けたことに加えて、当社及び海外連結子会社の固定資産について、足元の新型コロナウイルス感染症拡大の影響も含めて将来の回収可能性を検討した結果、減損損失を計上し、親会社株主に帰属する純損失を計上いたしました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益又は純損失
第127期 2020年3月期	47,510	1,166	1,102	△1,920
第126期 2019年3月期	47,543	1,440	1,612	844

● キャッシュ・フローの状況 (2019年4月1日～2020年3月31日)

単位：百万円



● ポイント解説

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純損失を計上したものの、減価償却費、減損損失を計上した結果、28億27百万円の獲得となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により、38億87百万円の使用となり、財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金及び社債の増加等により、18億68百万円の獲得となりました。

会社概要

会社の概況 (2020年3月31日現在)

商号	大同工業株式会社
設立年月日	1933年5月25日
資本金	35億3,651万円
従業員	761名(個別) 2,302名(連結)

(注) 上記従業員数は就業人員であり、臨時雇用者(定年後再雇用社員、派遣社員等)は含んでおりません。

事業所 (2020年3月31日現在)

本社・本社工場	石川県加賀市熊坂町イ197番地
福田工場	石川県加賀市大聖寺下福田町ソ20
動橋工場	石川県加賀市動橋町中22-1
東京支社	東京都中央区日本橋人形町3-5-4 (ユニゾ人形町三丁目ビル)
札幌営業所	札幌市東区北18条東18-1-3
栃木営業所	宇都宮市東宿郷4-2-20 (KDビル)
浜松営業所	浜松市北区三方原町1130-2
名古屋営業所	名古屋市中村区名駅南4-9-7
大阪営業所	大阪市中央区南船場2-12-12 (新家ビル)
西日本営業所	福岡市博多区博多駅南1-3-6 (第三博多借成ビル)
熊本営業所	熊本県菊池市旭志川1074-1

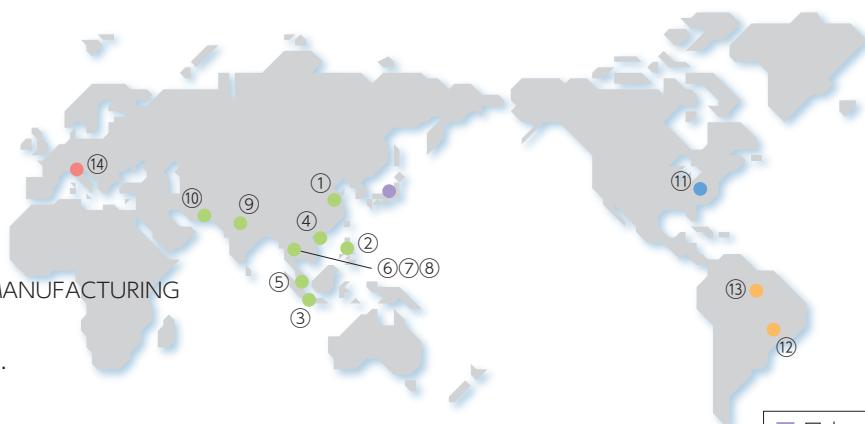
グローバルネットワーク (2020年3月31日現在)

国内ネットワーク

- 株式会社大同ゼネラルサービス
- 株式会社大同テクノ
- ガイド建設株式会社
- 新星工業株式会社
- 株式会社月星製作所
- 株式会社和泉商行
- 株式会社スギムラ精工

海外ネットワーク

- 中国 ① 大同鏈条(常熟)有限公司
- フィリピン ② D.I.D PHILIPPINES INC.
- インドネシア ③ P.T. DAIDO INDONESIA MANUFACTURING
- ベトナム ④ D.I.D VIETNAM CO., LTD.
- マレーシア ⑤ DID MALAYSIA SDN. BHD.
- タイ ⑥ DAIDO SITTIPOL CO., LTD.
- タイ ⑦ D.I.D ASIA CO., LTD.
- タイ ⑧ INTERFACE グループ (3社)
- インド ⑨ DAIDO INDIA PVT. LTD.
- パキスタン ⑩ ATLAS DID (PRIVATE) LTD.
- アメリカ ⑪ DAIDO CORPORATION OF AMERICA
- ブラジル ⑫ DAIDO INDUSTRIAL E COMERCIAL LTDA.
- ブラジル ⑬ DAIDO INDUSTRIA DE CORRENTES DA AMAZONIA LTDA.
- イタリア ⑭ DID EUROPE S.R.L.



- 日本
- アジア
- 北米
- 南米
- 欧州

会社役員状況 (2020年6月26日現在)

会社における地位	氏名
代表取締役会長	新家康三
代表取締役社長	新家啓史
専務取締役	立田康行
常務取締役	菊知克幸
常務取締役	清水俊弘
取締役	眞田昌則
取締役	石村外志雄
取締役 監査等委員(常勤)	梶谷清浩
取締役 監査等委員(社外)	澤保
取締役 監査等委員(社外)	坂下清司
取締役 監査等委員(社外)	武市祥司

(注) 1. 澤保氏、坂下清司氏、武市祥司氏は社外取締役であります。
2. 当社は、澤保氏、坂下清司氏、武市祥司氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所へ届出しております。

株式の状況

発行可能株式総数：32,000,000株

発行済株式総数：10,924,201株（自己株式1,420株含む）

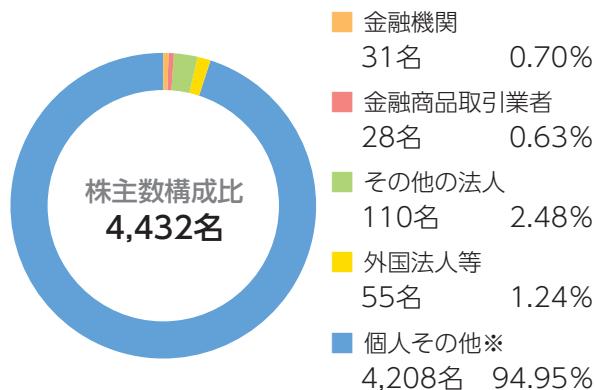
株主数：4,432名

大株主（上位10名）

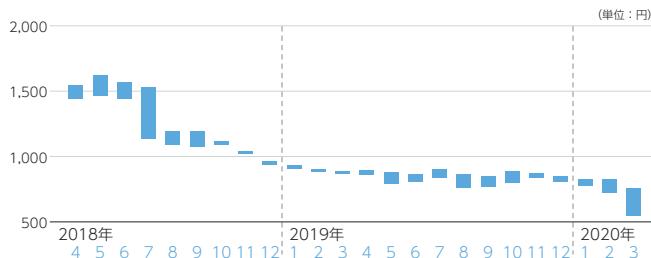
株主氏名及び名称	持株数	持株比率
株式会社 飯田	547千株	5.01%
株式会社 北國銀行	542	4.97
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	512	4.69
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	425	3.90
日本生命保険相互会社	275	2.52
加賀商工有限会社	262	2.41
大同生命保険株式会社	259	2.38
株式会社 みずほ銀行	258	2.36
株式会社 三菱UFJ銀行	258	2.36
新家 萬里子	257	2.36

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

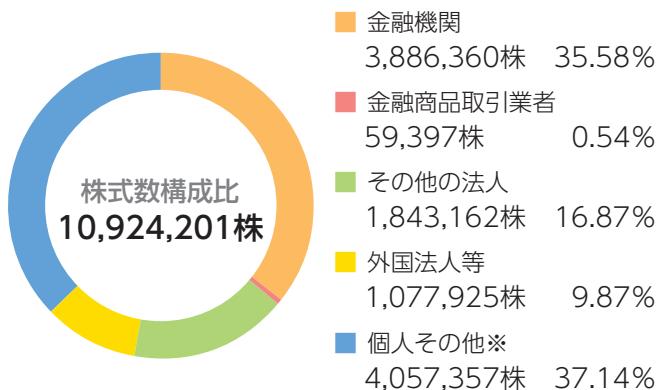
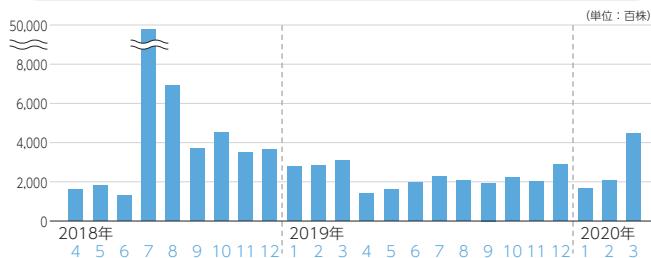
株式分布状況



株価（高値・安値）の推移



出来高の推移



※ 個人その他には、政府・地方公共団体及び自己名義株式を含む。

「REVO CHAIN (レボチェーン)」の販売開始！



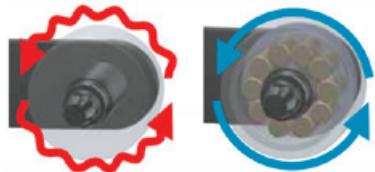
REVO CHAIN とは

REVO CHAINとは、Revolve「re（繰り返し）+volve（回る）」機構を持ったシリンダーローラ形コンベヤチェーンです。

軸間距離が長いコンベヤや自動車の組み立てライン等、なめらかな動きが求められるコンベヤにおいて力を発揮します。

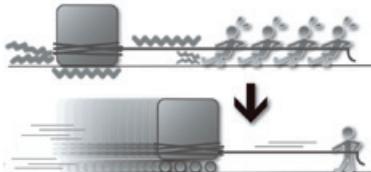
特 徴

①摩擦係数のダウン



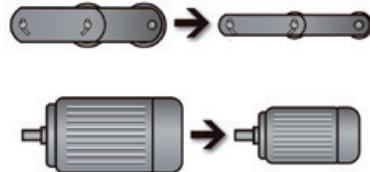
ローラとブシュの間に円筒ころと呼ばれる転動体をいれることによってローラの動きがなめらかになり、摩擦係数が従来品より大きく減少します。

②張力のダウン



摩擦係数を低減することにより、チェーンの張力についても従来より大きく改善され、小さな力で搬送を行うことができます。

③サイズのダウン



チェーン張力の低下により、チェーンサイズを小さくすることができ、コンパクトな設計を可能とするとともに、モータサイズも小さくなるため、所要電力が低下します。

階段補助手すり「AssiStep（アシステップ）」の販売開始！



AssiStep とは

当社は、30年にわたり階段昇降機を製造・販売しており、階段の利用を不安に感じているお客様の多様なニーズに応えてきました。そして、更なるお客様のニーズにお応えするため、ノルウェーで開発された階段補助手すり「AssiStep（アシステップ）」を、国内総代理店として2020年1月より販売を開始しました。

特 徴



一段一段、安全にサポート

人間工学に基づいて設計されたハンドルとレールにより使用者の動作テンポにあわせた操作ができることで体幹が安定し、階段での転倒転落のリスクが低減します。



歩行機能の維持が期待できます

自立を支援する補助用具として使用することで、身体能力の維持、身体機能の低下防止の効果が期待できます。



心のゆとりが生まれます

階段リハビリにおける転倒転落を防ぐ補助具として、介護者の体力的負担や事故を心配する心理的負担の軽減が期待できます。



動橋工場 新アルマイト棟が完成しました！



▲新アルマイト棟外観

2020年3月、当社動橋工場において新アルマイト棟が完成し、竣工式が執り行われました。

新たに完成したアルマイト棟の建屋は鉄骨2階建て、延床面積はおよそ2,674㎡で、既存動橋工場の2分の1に相当する巨大な建屋となっており、その建屋仕様は高い耐酸性や換気性を備え、優れた作業環境を有しています。

また、新たに導入されたアルマイト設備については、処理能力が既存設備の約1.5倍、年間最大74万本のアルミリムのアルマイト処理が可能となっております。これにより、これまで外注にかかっていた費用の低減が見込まれるとともに、ハンドルパイプをはじめとした既存アルミ製品や新たなアルミ製品への横展開も視野に入れるなど、大きな投資効果が期待できます。

今後は、新アルマイト棟での本格量産稼働に向け、準備を進めていきます。

新アルマイト棟 概要

所在地：石川県加賀市動橋町22-1

設備概要：アルミリム等のアルマイト処理

延床面積：2,674㎡

処理能力：アルミリム年間74万本



▲アルマイト処理設備

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月開催	
単元株式数	100株	
単元未満株式の 買取制度	1単元 (100株)	単元未満株式 (1から99株)
基準日	定時株主総会 3月31日	剰余金の配当 期末 3月31日 中間 9月30日
	そのほか必要があるときは、あらかじめ 公告して定めた日	
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
(電話照会先)	☎ 0120-782-031	
(インターネットHP URL)	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html	
公告の方法	当社ホームページに掲載(電子公告) https://www.did-daido.co.jp/jp/index.html	
上場取引所	東京証券取引所市場第一部	
証券コード	6373	

お知らせ (株式事務のご案内)

■ 各種手続き・ご照会について

株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなります。住所、氏名の後変更、配当金受取方法のご指定、単元未満株式の買取請求などのお手続きに関するお問い合わせ、お手続きに必要な書類のご請求等は、口座を開設されている証券会社までご連絡ください。

■ 特別口座について

株券電子化の実施までに証券保管振替制度をご利用されなかった株式につきましては、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に開設された特別口座に記録されております。特別口座で管理されている株式についてのお手続きに関するお問い合わせ、お手続きに必要な書類のご請求等は特別口座管理機関である三井住友信託銀行までご連絡ください。なお、三井住友信託銀行の全国本支店でもお取次いたします。

■ 単元未満株式の買取制度について

当社では証券市場における取引単位を1単元(100株)とさせていただいておりますので、単元未満株式(1から99株)の株式は証券市場でのお取引ができません。当社単元未満株式の買い取りをご希望される株主様は、お取引のある証券会社(特別口座が開設されている株主様は、三井住友信託銀行)までお問い合わせください。なお、買取請求に関する手数料は無料となっております。

■ 未受領の配当金について

未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

ホームページをリニューアルしました！
<https://www.did-daido.co.jp/>



投資家の皆様に財務情報や最新トピックスをご提供しております。



より詳細な財務情報をご希望の方は、
当社ホームページ「投資家向け情報」をご覧ください。

大同工業 投資家向け情報

検索

<https://www.did-daido.co.jp/jp/ir/index.html>

株主さま向け
アンケート

株主の皆さまの声を お聞かせください

当社では、株主の皆さまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。



<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 6373

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使い
の方は、右のQRコードからもアクセスできます。
QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に
到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する
「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。

(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なし
にこれ以外の目的に使用することはありません。(1809)

●アンケートのお問い合わせ

「e-株主リサーチ事務局」

MAIL: info@e-kabunushi.com

